

統合ビルセキュリティシステム

山田邦雄*
曾我部秀史*

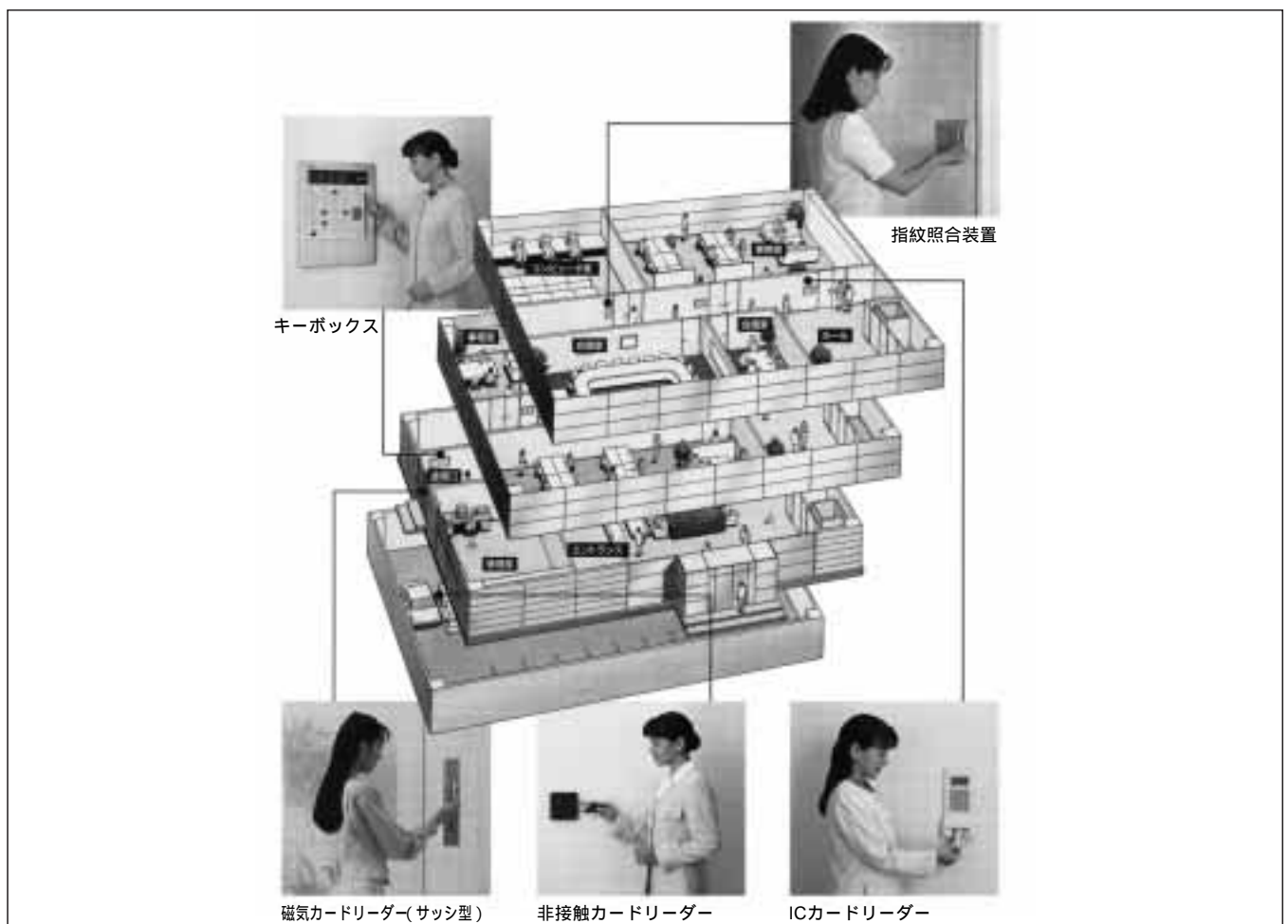
要 旨

自社ビル・複合ビルなど建物の用途を問わず、近年、ビル内におけるセキュリティシステムや出入管理システム (Access Control System : ACS) は急速に関心を集めており、エネルギー効率の向上を目指すビル管理システム (Building Automation System : BAS) とともに、ビルの効率・安全運用を行うために必要なシステムとして導入が増加している。三菱電機においても、MELSAFETYシリーズを前者ACSとして、またMELBASシリーズを後者BASとして市場に投入しており、数多くの実績を積み重ねている。ここでは、ビル内セキュリティの概要とACSとBAS機能を統合し、1998年度市場投入する新製品である

統合ビルセキュリティシステムについて述べる。

統合ビルセキュリティシステムの特長は次のとおりである。

- ビル管理 (BAS) 機能の包含
- 昇降機監視機能の包含
- ヒューマンインタフェースにパソコンを導入
- Windows NTベースのソフトウェア
- ネットワーク機能の強化 (インターネットへの対応)
- 個人識別端末 (カードリーダー、指紋照合装置) の充実
- システム操作権限 (ログイン認証) 手段の充実



ビルセキュリティシステム

ビル内各区域のセキュリティレベルに適した個人識別端末を設置することで人の出入管理や不正通行防止に効果的に働く。また、出入に連動し、エレベーターサービス階カットや、照明・空調などのビル内諸設備と有機的にリンクしてビルの効率運用を支援する。